

第118回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動の評価

本日、前回の火山噴火予知連絡会（平成22年10月13日）以降の全国の火山活動について検討を行い、結果を以下のとおり取りまとめました。

○ 全国の主な火山活動

今期間（平成22年10月13日～平成23年2月15日）、霧島山（新燃岳）、桜島及び諏訪之瀬島で噴火が発生しました。また、三宅島ではやや多量の火山ガス放出が継続しました。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕については、別に「霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果」として取りまとめました。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕昭和火口では、2010年9月中旬以降は噴火のやや少ない状態で経過しましたが、11月下旬から12月上旬及び2011年1月中旬以降に爆発回数が増加しました。10月以降の噴火による噴煙の最高高度は火口縁上1,700mで、大きな噴石が最大4合目まで達しました。

地殻変動観測から、始良カルデラ深部の膨張は引き続いており、桜島直下へのマグマの供給量は2010年11月頃からやや増加していると考えられます。引き続き活発な噴火活動が継続する可能性がありますので、火山活動の推移に注意する必要があります。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

諏訪之瀬島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕では、爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生しました。2月3日以降は、諏訪之瀬島北東沖を震源とする有感地震を含む火山性地震が多い状態が続いています。御岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、引き続き、火口から概ね1kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

三宅島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕では、多量の火山ガス放出が当分継続すると考えられます。引き続き、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

○ 各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

① アトサヌプリ〔噴火予報（平常）〕

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 大雪山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

④ 十勝岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・地震活動、噴煙活動ともに概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・2006年からみられている62-2火口直下浅部の膨張を示す地殻変動は、2009年以降次第に鈍化しながら現在も続いており、しばらくは活動の推移に注意が必要です。

⑤ 樽前山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・A火口及びB噴気孔群では高温の状態が続いていますが、噴煙活動は低調で、地震活動や地殻変動にも特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 倶多楽 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 有珠山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑧ 北海道駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑨ 恵山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

2. 東北地方

① 岩木山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 岩手山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 秋田駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・2010年10月から12月にかけて、女岳北西斜面、山頂付近及び北東斜面で新たな熱活動が確認されました。女岳北斜面、南東火口及び山頂北部の噴気地熱地帯の熱活動には特段の変化は認められませんでした。

- ・地震活動や地殻変動に特段の変化はみられません。
- ・ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

④ 鳥海山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 栗駒山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 蔵王山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 吾妻山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・噴気活動はやや高い状態が続いています。
- ・火山性地震は2010年11月中旬～12月を除きやや多い状況となっています。
- ・GPS連続観測による地殻変動観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。
- ・ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では火山ガスの噴出がみられるので警戒が必要です。また、風下側では、火山ガスに注意が必要です。

⑧ 安達太良山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑨ 磐梯山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

① 那須岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 草津白根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。山頂火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要です。

③ 浅間山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山性地震は、2010年4月以降はやや少ない状態で推移しています。
- ・火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は、2010年3月以降はやや少ない状態で推移しています。

- ・ 山体周辺のGPSによる地殻変動観測では、2009年秋頃から縮みの傾向がみられます。
- ・ 火山活動は2010年4月以降静穏な状態が続いていますが、山頂火口から500mの範囲では、火山灰噴出や火山ガス等に警戒が必要です。

④ 新潟焼山 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 焼岳 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 御嶽山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 白山 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑧ 富士山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 山体周辺のGPSによる地殻変動観測で、2008年8月頃からみられた地下深部の膨張傾向を示すと考えられる伸びの変化は、2010年初め頃から鈍化し秋頃からは停止しています。
- ・ その他の観測データで浅部の異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。

⑨ 箱根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑩ 伊豆東部火山群 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑪ 伊豆大島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ GPSおよび体積歪計による地殻変動観測では、2009年秋頃からの収縮に続いて2010年5月下旬から伸びがみられましたが、その傾向は秋頃から鈍化し現在はほぼ停滞しています。長期的には、地下深部へのマグマ注入によると考えられる島全体の膨張傾向が継続しています。
- ・ 地殻変動の伸びと同時期に、カルデラ直下および島の周辺で地震が増加しましたが、11月以降は少なくなっています。2月9日に一時的に島の西方沖の地震が増加しました。
- ・ 火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑫ 新島 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑬ 神津島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑭ 三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・今期間、噴火は発生しませんでした。
- ・火山性地震は、2010年9月以降少ない状態です。
- ・GPSによる地殻変動観測では、これまでの傾向と比べ特に大きな変化はみられません。
- ・二酸化硫黄放出量は緩やかな減少傾向ですが、1日あたり500から1500トン程度のやや多量の放出が続いています。
- ・火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。火口周辺(雄山環状線内側)では噴火に対する警戒が引き続き必要です。風下にあたる地区では火山ガスに警戒が必要です。

⑮ 八丈島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑯ 青ヶ島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑰ 硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険)]

- ・地震活動は2010年8月頃からやや多い状態で経過しています。2006年8月からの島全体が隆起する地殻変動は、2010年11月から12月にかけて一時的に鈍化しましたが、その後1月末頃から隆起速度が増加しました。島内南北方向の伸びの傾向も継続しています。
- ・2月8日に、滑走路東端北側に新たな噴気が確認されました。
- ・硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

⑱ 福德岡ノ場 [噴火警報(周辺海域警戒)]

- ・変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

4. 九州地方・南西諸島

① 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 九重山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 阿蘇山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・孤立型微動は少ない状態で経過しました。

- ・ 南側火口壁の火炎現象は2010年3月以降観測されていません。また、赤熱現象は2010年5月下旬以降観測されていません。
- ・ 南側火口壁の温度は250～280℃で経過しました。
- ・ 湯だまり量は2010年10月から11月にかけて概ね8割で経過しましたが、1月には5割まで減少しました。表面温度は65℃前後で経過しました。また、引き続き噴湯現象が観測されましたが、2010年12月以降噴煙のため観測できていません。
- ・ その他の火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では土砂や火山灰の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。
- ・ 南阿蘇村吉岡（中岳第一火口から西南西約6km）の噴気は噴出力がやや強く、引き続き噴気活動に注意が必要です。

④ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 霧島山

新燃岳 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）] ←平成23年1月26日に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に上げました。また、1月31日および2月1日に火口周辺警報を発表し、警報事項を切り替え（噴火警戒レベル3（入山規制）は継続）しました。

- ・ 本年（2011年）1月19日から始まった噴火は、26日から本格的なマグマ噴火となり、風下側では小さな噴石（火山れき）や多量の火山灰が降りました。火口近傍でごく小規模な火砕流の発生の痕跡も認められました。27日から2月3日まで爆発的な噴火が時々発生し、2月1日の爆発では、弾道を描いて大きな噴石が火口から3.2kmにまで飛散し、空振による窓ガラスへの被害もありました。また1月28日に新燃岳火口に溶岩の噴出が確認され、蓄積量は2月2日頃にかけて次第に増加しました。
- ・ これまでの噴出物量は4千万～8千万トン程度と推定されています。また活発な噴火活動時には、1日あたり1万トン以上の二酸化硫黄の放出が観測されました。
- ・ GPSの観測では、2009年12月から霧島山周辺では地盤の伸びが観測されていましたが、1月26日からの活発な噴火活動に伴い縮みに転じました。傾斜・ひずみ観測でも、顕著な噴煙活動期や火口内への溶岩の噴出期に収縮率が大きくなる傾向が認められ、収縮は、新燃岳の北西数kmの地下深くに存在するマグマだまりから新燃岳へマグマが上昇・噴出していったことを示すと推定されます。収縮に伴う地盤の縮みは、2月1日からほぼ停滞しています。
- ・ 2月9日からは噴火は断続的になり、その後は11日、14日に爆発的な噴火がありましたが、噴火の頻度は低くなってきています。火口の溶岩の蓄積量も2月3日以降はほとんど変化は見られません。
- ・ 9日以降は、火山性微動は減少しています。新燃岳を震源とする火山性地震も散発的な噴火に伴う一時的な増加を除いて減少しています。
- ・ 以上のことから、新燃岳へのマグマの上昇は、現在、低下していると推定されます。引き続き爆発的な噴火は続くと思われそうですが、当面、多量の火山灰を放出するような噴火の発生の可能性は低くなっていると考えられます。しかし再び多量のマグマが新燃岳へ上昇すれば噴火活動が活発化する可能性があり、地殻変動等のデータを注意深く見守る必要があります。
- ・ 1月26日18時に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げ、その後、1月31日01時35分（火口内に蓄積された溶岩の拡大）、2月1日11時20分（噴石の飛散が3kmを

超えたため)に火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)を切り替えました。

- ・新燃岳火口から概ね4kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。火口から概ね3kmの範囲では噴火に伴う火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。これまでの噴火では、直径4cmから6cmの小さな噴石が新燃岳火口から7km付近まで達しており、風の状況によっては10kmを超えることもあります。また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。噴火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。降雨時には泥石流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に注意してください。

御鉢 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 桜島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)] ←平成22年10月13日に火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から3(入山規制)に引き上げました。

- ・昭和火口の噴火活動は、2010年9月中旬以降は爆発的噴火を含む噴火のやや少ない状態で経過しましたが、11月下旬から12月上旬及び1月中旬以降に爆発回数が増加しました。
- ・南岳山頂火口では、2月7日に1年4ヶ月ぶりに爆発的噴火が発生しました。
- ・2010年10~11月に噴火により放出された火山灰量は26万トンと少ない状態でしたが、2010年12月~2011年1月には68万トンと増加しています。
- ・2010年7月頃から桜島直下へのマグマの供給は減少したため、マグマ供給量より火山灰噴出量が上回ったと考えられる沈降傾向が続いていましたが、11月下旬からマグマ供給量は増加しています。火山灰の放出量と地殻変動量からもマグマの供給量が、11月頃からやや増加していると考えられます。
- ・GPSによる地殻変動観測では、始良カルデラ深部(鹿児島湾奥部)の膨張による変化が引き続き観測されています。
- ・桜島直下へのマグマの供給量は減少から増加に転じており、噴火活動はやや活発な状態となっていますので、火山活動の推移に注意が必要です。
- ・昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

⑦ 薩摩硫黄島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・火山性地震は少ない状態で経過しましたが、10月28日から31日にかけて一時的に増加しました。
- ・噴煙活動は、白色の噴煙が火口縁上100~200m(最高高度は300m)で経過しました。
- ・火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石に注意が必要です。

⑧ 口永良部島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・ただし、火口内では引き続き噴気がみられており、火山灰等が噴出する可能性があります。

ります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。

⑨ 諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- ・ 御岳火口では、爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生し、噴火活動は活発に経過しました。
- ・ 火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。2月3日以降は、諏訪之瀬島北東沖を震源とする有感地震を含む火山性地震が多い状態が続いています。
- ・ 今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石に注意が必要です。

注) 噴火警戒レベルは平成23年2月15日現在、26火山に導入している。

全国の活火山の噴火警報及び噴火予報発表状況

地方	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年9月29日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年10月17日 噴火予報 (平常) 2008年11月17日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年12月16日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常)
	十勝岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年12月16日 噴火予報 (レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	有珠山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年6月9日 噴火予報 (レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	恵山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
東北地方	岩木山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	岩手山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年10月27日 噴火予報 (レベル1、平常)
	栗駒山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	吾妻山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	安達太良山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	磐梯山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	草津白根山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常) 切替
	浅間山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月3日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月7日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2010年4月15日 噴火予報 (レベル1、平常)
	新潟焼山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	焼岳	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	御嶽山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	白山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	富士山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	伊豆東部火山群	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	伊豆大島	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	三宅島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年3月31日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	八丈島	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
硫黄島	火口周辺警報 (火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報 (火口周辺危険)	
福徳岡ノ場	噴火警報 (周辺海域警戒)	2007年12月1日 噴火警報 (周辺海域警戒)	

	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	桜島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	口永良部島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注) 噴火警報及び噴火予報の発表履歴は、2007年12月1日以降のものを記載しています。

上記以外の活火山では平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

地方	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、バルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、

及び伊豆・小笠原諸島	利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬭婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

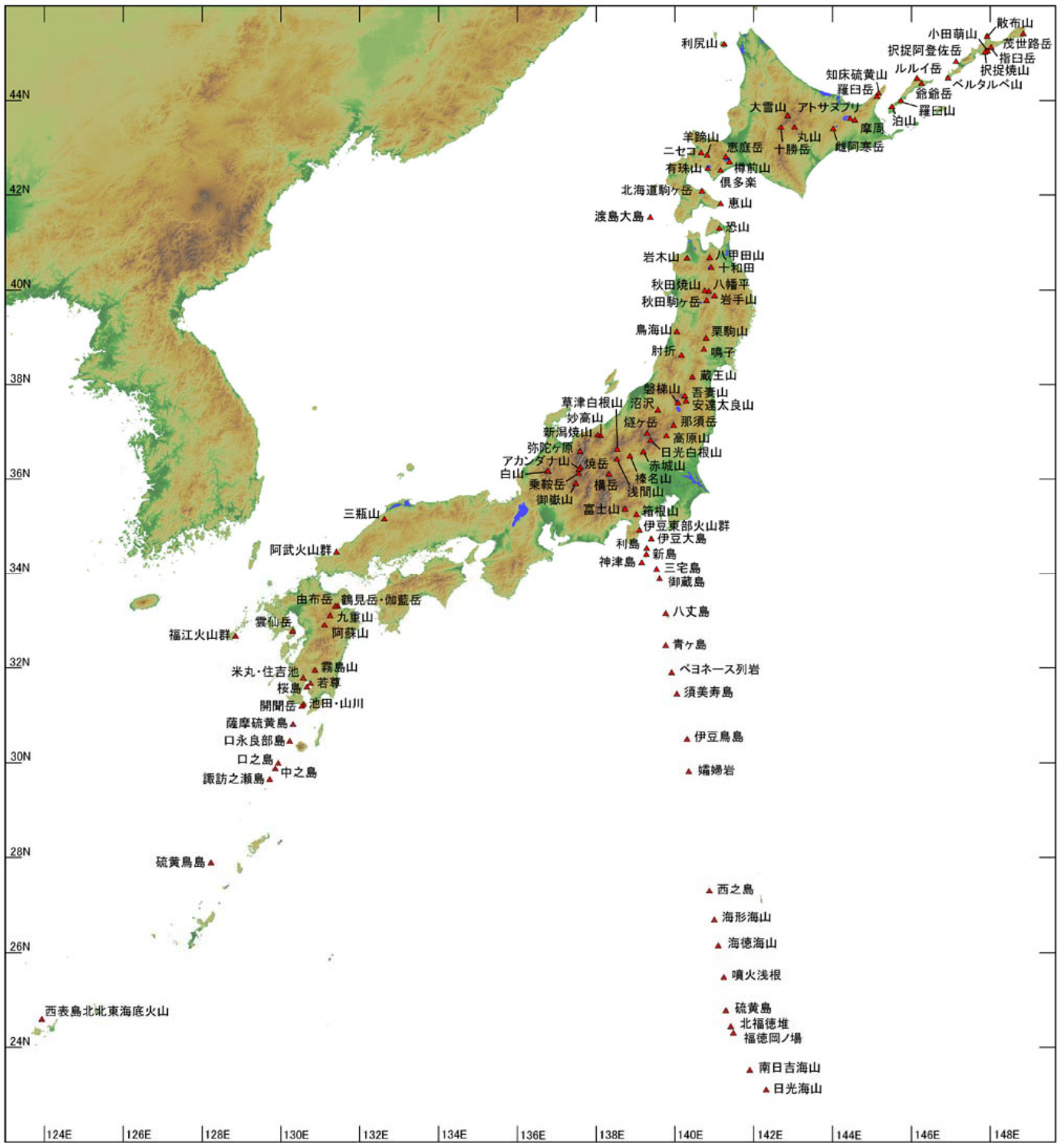


图 活火山分布图